

令和4年度 江戸川区立下鎌田東小学校 学校関係者評価 中間評価用報告書

学校教育目標	<ul style="list-style-type: none"> ・生涯にわたって学ぶ意欲をもち、生きる力の基となる考える力の育成 ・自分も相手も大切にし、豊かでしなやかな心の育成 ・健康な体をつくり、粘り強くやり抜く力の育成 	<ul style="list-style-type: none"> ・目指す学校像 ・目指す児童像 ・目指す教師像 	<ul style="list-style-type: none"> ・笑顔と活力にあふれ、児童一人一人が自分のよさを発揮できる学校 ・考える子 思いやりのある子 たくましい子 ・全ての教職員が協働し、質の高い教育活動の実現を目指す教師
前年度までの学校経営上の成果と課題	<p>＜成果＞ 新型コロナウイルス感染症予防・拡大防止に向けた取組が推進され、児童は安全に学校生活を送ることができた。校内OJTの推進により、若手教員等の育成が図られた。開校50周年記念式典とおとして地域との連携を深めることができた。</p> <p>＜課題＞ 教職員の組織的な教育力や対応力をさらに向上させ、児童の学びを充実させていく。学習用タブレット端末の活用を推進していく上での情報モラル教育の徹底。</p>		

教育委員会重点課題	取組項目	評価の視点	具体的な取組	数値目標	自己評価		学校関係者評価		年度末に向けた改善策
					取組	成果	評価	コメント	
いさいと学ぶ学校づくり	確かな学力の向上	<ul style="list-style-type: none"> ・確かな学力向上推進プランの実施・改善や補習の実施などによる指導の充実と授業力の向上 ・「各教科等の連携教育プログラム」による連携の充実 	<ul style="list-style-type: none"> ・東京ベージックドリル診断シートの実施 ・全国学力・学習状況調査への取組 ・放課後補習教室の実施（外部委託） 	<ul style="list-style-type: none"> ・東京ベージックドリル診断シートの平均正答率の向上 ・全国学力・学習状況調査で、平均正答率を全国の平均以上とする ・放課後補習教室の定期的な実施 	A	B	A	<ul style="list-style-type: none"> ・取組の成果が見られている。引き続き学力向上に向けた取組の推進を期待する。 ・放課後補習教室のさらなる効果的な取組に向けた検討を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・東京ベージックドリル診断シート等の分析に基づき、個に応じた指導の充実を図る。 ・放課後補習教室のさらなる効果的な取組に向けた検討を行う。
	体力の向上	<ul style="list-style-type: none"> ・体育の授業や休み時間における全校運動遊びなど主体的な運動の実施による運動意欲の向上 	<ul style="list-style-type: none"> ・運動遊びを定期的に実施 ・体育の授業の充実 	<ul style="list-style-type: none"> ・日常的な外遊びの充実 ・学習カード、学習用タブレット端末等を活用した授業、評価の実施 	B	B	B	<ul style="list-style-type: none"> ・より多くの児童が休み時間に積極的に外遊びを行い、体力向上が図られることを期待する。 ・児童の「投げる」能力を高める体育学習の充実を期待する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童の「投げる」能力を高める体育学習の充実を図る。
	読書科の更なる充実	<ul style="list-style-type: none"> ・読書を通じた探究的な学習の実施・充実 	<ul style="list-style-type: none"> ・読書ノートを活用した授業 ・調べ学習での図書館の積極的活用 ・年2回の読書週間の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・全学級、週1回以上図書館を活用する ・各教科で調べ学習を活用した授業展開の実施 	B	B	B	<ul style="list-style-type: none"> ・朝読書や読書週間を通して、読書の機会を増やしてほしい。 ・図書館をさらに効果的に活用できるような取組が必要である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校図書館の整備、学校図書館を使った授業の充実を図る。
	ICTの推進	<ul style="list-style-type: none"> ・学習用タブレット端末を活用した個別最適な学びの実現 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習用タブレット端末を活用した授業改善 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習用タブレット端末を1日1回以上、授業で活用する 	B	B	B	<ul style="list-style-type: none"> ・児童が「楽しい、わかった」と感じられるような学習用タブレット端末の活用をさらに進めてほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・校内研修等を充実させ、効果的な活用方法等について授業改善を進める。
特別支援教育の推進	共生社会の実現に向けた教育の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・校内委員会の活性化を図ることなどによる指導・支援の充実 ・ユニバーサルデザインの視点を取り入れた個に応じた指導の充実 ・副障交流、交流及び共同学習の充実 	<ul style="list-style-type: none"> ・特別支援教育研修の実施 ・ユニバーサルデザインに関する提案・周知 ・副障交流校と、手紙交換による交流の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・要支援児童の全校体制での支援、見守り ・ユニバーサルデザイン授業の実施 ・副障交流校と、毎月、学校便りや学年便りを交換し交流する。 	B	B	B	<ul style="list-style-type: none"> ・支援を必要とする児童の育成に向けた取組が進められている。今後さらに充実していくことを期待する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ユニバーサルデザイン推進の働きかけを強化し、教職員の意識の向上を図る。
	児童の健全育成	<ul style="list-style-type: none"> ・いじめ・不登校の未然防止に向けた魅力ある学校づくりの取組の充実 ・生活指導連絡協議会の活用 	<ul style="list-style-type: none"> ・毎週的生活指導連絡会の充実 ・いじめ防止に関する授業の実施 ・いじめ・不登校対策委員会の開催 	<ul style="list-style-type: none"> ・いじめ問題解消率100% ・いじめ防止に向けた道徳授業の実施 	B	B	A	<ul style="list-style-type: none"> ・いじめ解消に向けた、継続した取組を望む。 ・不登校傾向の児童が少ない。日頃の指導体制の成果である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・いじめの未然防止・早期発見・早期対応を目指した教育活動のさらなる充実を図る。
	安心できる学校環境の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・児童の支援体制の充実 	<ul style="list-style-type: none"> ・特別支援教室専門員、スクールカウンセラーとの連携強化 ・エンカレッジルームの活用促進 	<ul style="list-style-type: none"> ・関係者による定期的なケース会議の開催 	A	B	B	<ul style="list-style-type: none"> ・児童が安心して学校生活を送ることができるのは素晴らしいことである。引き続き、取組の充実を期待する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・支援を必要とする児童について、情報共有を徹底し、実施に応じた手立てをさらに検討していく。
学校と家庭、地域、関係機関との連携強化	学校関係者評価の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・教育活動の改善・充実に向けた学校関係者評価の実施・改善 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童、保護者、地域、教職員への学校評価アンケートの実施 ・各行事等における保護者、地域、教職員アンケートの実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・アンケートフォームを活用した効果的なアンケートの実施・充実 	B	B	B	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者や地域からの意見等を踏まえて、教育活動をさらに充実したものにしていきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校関係者評価(中間評価)の内容を基に、次年度に向けて教育課程の編成を行っていくことと、教育活動のさらなる充実を進めていく。
	積極的な情報発信	<ul style="list-style-type: none"> ・教育活動を保護者、地域への積極的な情報発信 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校ホームページ、学校便りの充実 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校ホームページの定期的な更新 	B	B	B	<ul style="list-style-type: none"> ・学校の様子、児童の様子がよくわかる、学校ホームページがさらに見やすくなるよう工夫されることを望む。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校ホームページの更新回数が増えるように在り方を検討する。
	関係諸機関との連携強化	<ul style="list-style-type: none"> ・関係諸機関と連携した教育活動の充実 	<ul style="list-style-type: none"> ・江戸川区児童相談所、巡回スクールソーシャルワーカーとの連携 ・警察等と連携したセーフティ教室、避難訓練の実施 ・江戸川区立図書館との連携 	<ul style="list-style-type: none"> ・必要に応じ、児童に関する情報の定期的な共有 ・月1回、東部図書館職員の巡回業務を活用し、学校図書館業務の充実 	B	B	B	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、関係諸機関との連携を強化して、さらに児童理解を図り、日々指導にあたってほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・巡回型スクールソーシャルワーカーとの連携の在り方について検討する。
	「学校における働き方改革プラン」	<ul style="list-style-type: none"> ・「学校における働き方改革プラン」に基づく取組の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・校務分掌の改善 ・会議等の精選 ・一斉定時退勤日を毎週設定 ・完全退勤時刻を20時に設定 	<ul style="list-style-type: none"> ・各学期ごとに校務分掌の見直しを実施 ・勤務時間外在校時間45時間以内の教職員85%以上 	B	B	B	<ul style="list-style-type: none"> ・会議の精選や校務分掌の見直しに努めた。 ・勤務時間外在校時間45時間の達成状況に差がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・働き方改革をさらに推進し、日々心身ともに健康な体で教育活動を行ってほしい。
特色ある教育の展開	小中連携教育の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・「小中連携教育構想」を基にした「各教科等連携教育プログラム」による連携の充実 	<ul style="list-style-type: none"> ・連携プログラムに基づいた授業の実施 ・近隣中学校と連携した活動 	<ul style="list-style-type: none"> ・中学校進学時の不安解消 	B	B	B	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校と中学校の連携は、児童の様々な成長にとって大切なことである。情報共有を密にして、小中連携の充実した取組を望む。 	<ul style="list-style-type: none"> ・感染状況等を考慮しながら、中学校との児童、生徒間の連携の在り方について検討を行っていく。
	児童の自主性の育成	<ul style="list-style-type: none"> ・異学年交流の推進 ・「自らすすんで」行動する児童の育成 	<ul style="list-style-type: none"> ・異学年交流の取組を年間を通じて実施 ・ノーチャイムでの学校生活の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・異学年交流活動の定期的な取組 	B	B	A	<ul style="list-style-type: none"> ・児童の自主性がさらに高まり、様々なことに積極的に挑戦する気持ちを大事にしてほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童が「自らすすんで」様々な活動を行うことができるよう、全教職員が共通理解を図りながら日々指導を行っていく。